

I 令和元年度 庶務関連

1. 令和元年度決算額(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

(1) 歳入

(単位：千円)

海洋深層水利用生産物売払収入	
海洋深層水及び表層水	17,931

(2) 歳出

(款) 農林水産業費

(項) 農業費

(目) 農業総務費

(単位：千円)

(事項) 試験研究運営費	
(事業) 運営費(海洋深層水研究所)	61,907
(事項) 海洋深層水研究費	
(事業) 海洋深層水研究費(単独)	13,585
(事業) 海洋深層水研究所取水関連設備	
機能保全事業	23,265
合計	98,757

2. 沿革

平成9年度 国庫補助事業「先導・基盤的研究開発施設の整備事業(科学技術庁所管)」整備を開始

平成12年度 研究施設開所(6月)

平成13年度 クルマエビ母エビ養成技術の確立

平成14年度 クビレヅタ、オゴノリの陸上養殖技術の確立

平成15年度 クルマエビの母エビ養成技術を沖縄県車海老漁業協同組合に技術移転

平成16年度 海洋深層水を利用したクビレヅタ、フロリダ産オゴノリの陸上養殖技術を

久米島海洋深層水開発(株)に技術移転

平成19年度 「養成クルマエビの産卵促進方法並びに産卵促進装置」で特許権を取得

平成24年度 企画部から農林水産部に所管変更

海洋温度差発電実証設備が敷地内に完成(H25年3月) (所管：商工労働部 産業政策課)

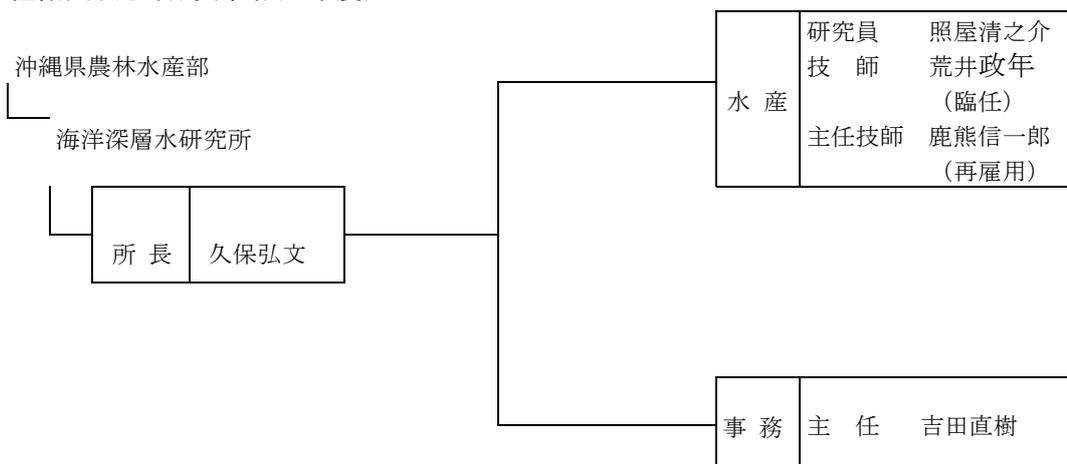
3. 所在地

〒901-3104 沖縄県島尻郡久米島町真謝 500-1

電話 098-896-8655 FAX 098-896-8658

4. 職 員

組織図及び名簿(令和元年度)



5. 土地及び建物等

区分	単位	件数	数量	備考
土地	m ²	2	39,217.93	
建物	m ²	8	5,733.50	県有財産
工作物	-	66	-	
樹木	本	1	36	

内 訳

区分(建物)

①共通施設	建面積(m ²)	延面積(m ²)	構造等
研究所本館	548.85	969.20	鉄筋コンクリート造 地上2階 塔屋1階
機械棟	406.82	631.91	鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階
②農業分野研究施設	建面積(m ²)	延面積(m ²)	構造等
農業機械棟	537.92	414.72	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階
温室	1,440.00	1,440.00	(鉄骨 240 m ² ×6棟 土耕4 水耕2)
屋外トイレ	25.81	23.33	コンクリートブロック
③水産分野研究施設	建面積(m ²)	延面積(m ²)	構造等
水産分野研究棟	897.59	881.84	鉄骨造 60t水槽(4基)
海藻・介類研究棟	433.15	427.50	鉄骨造
水産実用化試験棟	945	945	鉄骨造キャンパス 50t水槽(8基)

区分（工作物）

	数量	構造・規模
屋外水槽	4	250t 水槽
取水ピット	1	地下3階、地上1階建(9m×7m×13m)
放水ピット	1	鉄筋コンクリート造(8m×4m×8.3m)
深層水取水管	2	合成樹脂造 外形 350mm
表層水取水管	1	合成樹脂造 外形 560mm
放水処理研究施設	1	鉄筋コンクリート造(28.6m×21.5m)

II 令和元年度研究課題一覧

水産分野

- 1 県産クルマエビの種苗生産・養殖技術高度化試験
研究年度：平成 29～令和元年度
担 当 者：鹿熊信一郎・荒井政年・照屋清之介
- 2 海洋深層水を利用したスジアオノリ陸上養殖技術の開発
研究年度：平成 30～令和 2 年度
担 当 者：照屋清之介・鹿熊信一郎
- 3 深層水を活用したクルマエビ母エビの新規系統導入と防疫管理技術開発
研究年度：平成 31～令和 3 年度
担 当 者：照屋清之介
- 4 クビレヅタ（海ぶどう）の株保存技術および品質管理技術の開発
研究年度：平成 31～令和 3 年度
担 当 者：照屋清之介
- 5 ヒトエグサ（あーさ）の系統解析と系統保存技術開発
研究年度：平成 31～令和 3 年度
担 当 者：照屋清之介